

海色のトランク

安部 枕流

【登場人物】

カヤノ・マドカ (妹)

カヤノ・マリナ (姉)

コサカイ・ミツエ (小学校の先生。姉妹の幼なじみ)

クサカ・ヒロオ (父親の部下)

ゴトーさん (近所のオバちゃん)

クドーさん (近所のオバちゃん)

チサト (謎の女性)

トランペットをもった娘

Mes frères et sœurs ont grandi, les mains sur les poignées des valises. Moi aussi. Le temps a continué de passer. [...] ma mère nous disait : « L'année prochaine, peut-être... » Vingt ans ont passé. Mes parents sont toujours là. — Yamina Benguigui, *Mémoires d'Immigrés*

(わたしのきょうだいは、トランクを握ったまゝおゝきくなった。わたしもまた。時は流れつづけた。母は、わたしたちにかういふのだった「来年こそは、たぶん……」。二十年が経った。両親はあいかわらずここにゐる。——ヤミナ・ベンギギ『移民の記憶』)

〇五〇〇万年後 *dans 5 millions d'années*

海中深く、クジラたちが集う。気泡を吐きだしながら、なにかを語るように。

- クジラ1 それは遠い過去のことだ……
- クジラ2 いや、それは遠い未来のことだ……
- クジラ3 それは遙か宇宙の彼方だ……
- クジラ4 いや、それはこの地球のことだ……
- クジラ5 それは彼らのことだ……
- クジラ6 いや、それは彼女らのことだ……
- クジラ1 それは過去でも未来でもない……
- クジラ2 それは宇宙でも地球でもない……
- クジラ3 それは彼らでも彼女らでもない……
- クジラ4 それはいま……
- クジラ5 それはこゝ……
- クジラ6 それはわれら……
- クジラたち その話をしよう……
- クジラ1 いまから六千万年前……
- クジラ2 われわれは海に還った……
- クジラ3 五百万年前……
- クジラ4 われわれは陸をめざした……
- クジラ5 だがそのとき、海がふくれあがった……
- クジラ6 海はあたりを覆いつくし……
- クジラ1 陸は海となって……
- クジラ2 われわれは行き先をうしなった……
- クジラ3 同時に還り先も……
- クジラ4 だから、いまも……
- クジラ5 われわれは旅をつづけている……
- クジラ6 行き先をもとめて……

クジラたち

宇宙を覆いつくした海のなかで……！

ト、海中深く、クジラの鳴き声が響き渡る。

クジラたち、それぞれトランクを握ると、おのおの、方角に旅立ってゆく。

1 風の公園 *un petit square au vent*

クジラたちが去ると、そこは夜の公園。

真ん中にシーソー。下手にベンチ。上手奥にジャングルジム。街灯がひとつ。破れかけのフェンスには、雑草がからまっている。さびれた雰囲気。だが、シーソーには、いましがたまで、だれかゞ坐わっていたような気配もある……。

風。

ト、トランペットに紐をつけてぶら下げた娘があらわれる。彼女は、おもむろに、トランペットの練習をはじめ。だが、初心者らしく、音を出すことすらできない。しばし悪戦苦闘する娘。

娘

(吹きやめて) エーっと…… (ト、トランペットのマウスピースに眼をあて、望遠鏡のように覗いてみる。そこかしこを覗いたあげく、上手に眼をやる) あっ……

驚いたように娘が下手に駆け去ると、かわりに、マドカが本を読みながら上手から現れる。

マドカ

……「いまから約五千万年前、陸上にいた偶蹄目のカバの仲間が、生き物の故郷である海にもどってゆきました。やがて、まえ肢はヒレ状になり、うしろ肢は退化し、首は短くなり、かれらはクジラになったのです…… (本を閉じ) こんばんは、夜です。そして、こゝは、公園です。ちいさいころに近所に越してきてから、わたしとおねえちゃんは、よう、こゝで遊びました。家の壁に落書きをしておかあさんに怒られたときも、嫌いやった納豆をこっそりゴミ箱に棄て、おとうさんに叱られたときも、家を飛び出して、この公園のジャングルジムのてっぺんにのぼって、「どこか、おとうさんもおかあさんもおれへん世界にわたしをつれてってください」いうて、お星さまにお願いしました。ジャングルジムのてっぺんにのぼったんは、すこしでもお星さまに近いほうが、お祈りの効果があるはずやと思たからでした。アホでした。けれど、ある日、小学校から帰ってみると、おかあさんのおれへん世界が実現していました。いわゆるキューセーシンフゼンてやつでした……。 (ジャングルジムにのぼる) でも、おとうさんは相変わらずで、公園も相変わらずで、世界はちっとも変わってへんようでした。おねえちゃんとわたしは、そのまゝおゝきくなって、学校を出て、社会人になりましたが、そのあいだにも、ときどきはこの公園にきて、相変わらず、こんなふうに、ジャングルジムのてっぺんにのぼったりしました。そう、ひとつだけ変わったんは、こどものころにはすっごく高くてちよっぴり怖かったジャングルジムが、いつ

のまにか、ちっとも怖くなくなったことでした……

上手からあらわれるマリナ。

マリナ　なにしてるん……
マドカ　べつにイ……
マリナ　なんか見えんのん……
マドカ　べつにイ……
マリナ　……
マドカ　……
マリナ　ほな、なんでのぼってんのん、ジャングルジム……
マドカ　べつにイ……
マリナ　また、棄てたんやろ、納豆……
マドカ　棄てゝへんよ……今日は……
マリナ　ふーん……
マドカ　……
マリナ　まあえゝわ……
マドカ　おねえちゃんこそ、なにしに来たん……
マリナ　べつにイ……
マドカ　まねせんとして……
マリナ　えゝやん、減るもんやなし……
マドカ　減るもん……
マリナ　小学生かいな……
マドカ　さ、帰ろかな……
マリナ　なに読んでんのん、それ……
マドカ　えゝやん、べつになに読んでたかて……
マリナ　クジラ……？　なんでクジラ……？
マドカ　（周章てゝ表紙を隠し）せやから、えゝやろ、なに読んだかて……
マリナ　なに、仕事で、クジラ担当になったん……？
マドカ　あるわけないやん、そんな担当……
マリナ　ほな――
マドカ　ちよつと読んでみたなつたゞけやんか……
マリナ　うちで読んだらえゝやん……
マドカ　外の空気すいたなつてん……
マリナ　寒いのに……
マドカ　おねえちゃんこそ、寒いなか、なんでこんなとこ来てんのよ……
マリナ　せやなあ……
マドカ　なに……？
マリナ　どれにしよつかな……
マドカ　なにを……？
マリナ　理由……
マドカ　どうせ、またカレシと喧嘩でもしたんやろ……
マリナ　せやなあ……

マドカ なんやかんやいうて、長いことつきおうてるくせに……
マリナ まあね……
マドカ おとうさんかて反対せえへんて……
マリナ かもね……
マドカ はよ結婚しいや……
マリナ なんで？ そないに結婚してほしいん……？
マドカ そしたら、おねえちゃんの部屋、わたしのもんなるもん……
マリナ あんた、持ちもんおゝすぎやうて……
マドカ えゝやん、べつに……
マリナ たまには片づけや、部屋……
マドカ ほっとつてよ……
マリナ 買うてこんとつてよ、おっきなクジラのぬいぐるみとか……
マドカ ほら、また、ひとのこと、こどもあつかいするし……
マリナ だって、いつまでもこどもっぽいところあるし……
マドカ おねえちゃんかて……
マリナ なによ……
マドカ べつにい、さてと、帰ろっかな……
……
マドカ そろそろ、おとうさんも帰ってくるころやし……
マリナ そやね……
マドカ おねえちゃんは……？
マリナ うん、帰るわ……
マドカ (マリナの顔を見る) ……
なに……？
マドカ (問を発しかけるが) なんでもない……
マリナ 変なの……
マドカ ま、いっか…… (去りかける)
マリナ やっぱ……
マドカ え……？
マリナ おるわ、もうちよつと……
マドカ 風邪ひかんとつてや……
マリナ べつにえゝやん、どうせ、あしたも休みやし……
マドカ アホ……
マリナ うん……
マドカ (明るく) ほな、おさき……！

去るマドカ。

ベンチに坐わつて、上を眺めるマリナ。

マリナ レグルス、しし座、ポルックス、ふたご座、カペラ、ぎよしや座、シリウス、おゝいぬ座、ベテルギウス、オリオン座、アルデバラン、おうし座、ミラ、くじら座……。ぜんぜん見えへんなあ、やっぱ、都会じゃ……

ところへやってくるミヅエ。

ミヅエ あれ……

マリナ なんや、なにしに来たん、こんなところへ……

ミヅエ マリナこそ、なんしてんのん……？

マリナ いっぱく……

ミヅエ ふうん……

マリナ ミヅエは……？ 散歩……？

ミヅエ そんなところ……（マリエと並んでベンチに坐わると、ポケットから缶コーヒーを出す）
呑む……？

マリナ うゝん……（首を振る）

ミヅエ ……（缶コーヒーで手を温める）

マリナ 相変わらず忙しのん……？

ミヅエ まあね。マリナは……？

マリナ ぼちぼち……

ミヅエ ぼちぼち……？

マリナ 小学校の先生にはかなわへんよ……

ミヅエ なかなか会われへんもんな……

マリナ 昔は、よう遊んだのにな……

ミヅエ 幼稚園から高校までいつしよやねんもん……

マリナ けど、高校卒業してからは、あんまり会うてへんか……

ミヅエ 卒業してから、えーと、十一年……？

マリナ なーんか……

ミヅエ なに……？

マリナ あつという間やったなあ、思て……

ミヅエ そう……？

マリナ あつという間に三十路やし……

ミヅエ あつという間か……

マリナ ミヅエは、あつという間やなかったんや……

ミヅエ そやなあ……

マリナ やっぱ、充実してた……？

ミヅエ まあ、それなりに……

マリナ ミヅエ、昔っから、子ども好きやったもんな……

ミヅエ けどね、現実はね……

マリナ なに、憎ったらしいガキンちよばっか……？

ミヅエ 高学年になるとね、かなりマせてくるし……

マリナ やっぱり……

ミヅエ でも、低学年の子は可愛いで……

マリナ なるほど……

ミヅエ そういえば、マドカちゃんも可愛かったなあ、ちっちゃいころは、よう、マリナのあ

とについて、この公園きてたし……

マリナ まあ、ちっちゃかったからね……

ミヅエ そうそう、立派におねえちゃんしてたで、マリナ……

マリナ　　だって、しゃあないやん、姉やもん……
ミツエ　　そやな……

マリナ　　そのうえ、おかあちゃん役もせなあかんようになったし……
ミツエ　　うん……

マリナ　　なーんか、ね……

ミツエ　　……

マリナ　　……

ミツエ　　マドカちゃん、元気にしてる……？

マリナ　　うーん、どうやる……

ミツエ　　なんで……？　　いっしょに住んでんのやろ……？

マリナ　　まあ、おたがい、おとなやし……

ミツエ　　ふーん、そんなもん……？

マリナ　　なにが……？

ミツエ　　だって、わたし、ひとりっ子やから、きょうだいのおる人って、ずっとうらやましか
つてんけどな……

マリナ　　そやなあ、けど、わたし、妹より、おにいちゃんがほしかったかも……

ミツエ　　（面白がって）　　なんやそれ、ブラザー・コンプレックス……？

マリナ　　まさか……

ミツエ　　てゆーか、マリナ、ひっぱってくれる人がタイプやもん……

マリナ　　まあね……

ミツエ　　たぶん、まじめすぎるんやと思うわ……

マリナ　　なによ、急に……

ミツエ　　あるいは、なかなか、よう踏みだせへんタイプ……。せやから、歳上で強引な人が好
み……

マリナ　　それでも、ないよ……

ミツエ　　……？

マリナ　　それよりさ、ミツエ、さいきんやれへんね、ピアノのコンサート……

ミツエ　　だって、この忙しさじゃね……

マリナ　　そっか……

ミツエ　　もう、ちかごろは腕がなまっちゃってなまっちゃって……

マリナ　　でも、オルガンは弾くんやし……？

ミツエ　　いやあ、わたし、音楽専科の教師やないし……

マリナ　　宝の持ち腐れやん……

ミツエ　　まあね……そんな、お宝ってわけでもないし……

マリナ　　だって、わたしらのピアノ教室で、小学生のときから上手やったやん……

ミツエ　　そういえば、みんなで行って、小学校の延長みたいやったなあ、あの教室……。

マリナ　　マドカちゃん、あそこにもついてきてたし……

ミツエ　　そうそう、ピアノ弾くいうて、むりやり弾かしてもらたこともあったなあ……

マリナ　　そやったそやった……

ミツエ　　……

マリナ　　……

ミツエ　　……

マリナ　　……

ミツエ　　また、こんど、弾いてな、ピアノ……
うん……

マリナ　なんといっても、ミヅエは、あたしらの憧れの的やねんから……
ミヅエ　もう、やめてや、そのいゝかた……
マリナ　だって、断トツでうまかったやん、ピアノ……
ミヅエ　あの教室のなかでだけやって……
……
マリナ　世間には、わたし程度のひとなんか、ごろごろおんねんから……
ミヅエ　そうなん……？
マリナ　そうそう……
ミヅエ　そうか……
マリナ　そうやで……
ミヅエ　でもな……
マリナ　……？
マリナ　それでも、ミヅエは、あたしらのヒーローやで……
ミヅエ　それもいゝなら、「ヒロイン」やろ……
マリナ　せやな……
ミヅエ　せやで……
マリナ　さてと……（立ち上がる）
ミヅエ　なんや、もう帰んのん？
マリナ　うん……
ミヅエ　そっか……
マリナ　ほなね……
ミヅエ　またね……

マリナが去ると、ミヅエは、缶コーヒーのプルトップを開け、ひとくち呑んで、
ふうつと息を吐く

トランクペットを持った娘がやってくる。

娘　あ……
ミヅエ　（気づいて）どうかしました……？
娘　いえ……
ミヅエ　あ、練習……？
娘　（項突く）……
ミヅエ　いゝですよ、それ、練習してもらって……
娘　でも……
ミヅエ　わたし、たんにぼうつとしにきたゞけですから……
……
娘　あ、もしかして、やりにくい……？
ミヅエ　いゝえ……
娘　じゃあ……
ミヅエ　（荒爾《につこり》して）吹けないんです……
娘　なるほどね……
ミヅエ　ぜんぜん……
娘　恥ずかしい……？

娘 ちよつと……
ミツエ 吹奏楽部……？
娘 いえ……
ミツエ じゃあ……
娘 その……
ミツエ あ、ごめんなさい、じゃ、帰りますから……（ト、立ち上がる）
娘 あの……
ミツエ ……？
娘 これ……
ミツエ はい……？
娘 もしかして、吹けます……？
ミツエ （首を横に振る）……
娘 そうですか……
ミツエ どうして……？
娘 なんか、音楽にくわしそうな気がしたもんですから……
ミツエ へえ……
娘 すいません……
ミツエ でも、ちよつとはくわしいかも……
娘 え、そうなんですか……？
ミツエ わたしはね、こっち……（ピアノ弾くまね）
娘 あゝ……
ミツエ さいきん、ぜんぜんごぶさたなんやけどね……
娘 OLさん……？
ミツエ 先生……小学校の……
娘 へえ……
ミツエ 大学んときは、音楽教育課程やってんけどね……
娘 じゃあ、音楽の先生ですか……？
ミツエ うゝん、ふつうの先生……
娘 ……
ミツエ 先生ってね、けっこう忙しねんよ……
娘 じゃあ……
ミツエ ……？
娘 いっぷく……
ミツエ いっぷく……？
娘 いっぷくしなきゃ……
ミツエ いっぷくね……
娘 （項突く）……
ミツエ （缶コーヒーを呑みほして）うん、いっぷくした……（ト、立ち上がる）
娘 （嬉しい）はい……
ミツエ ほな、帰ります……？
娘 （項突く）……
ミツエ （トランクペットを指し）それ、吹けるようになったら、聞かせてね……

立ち去るミツエ。
練習を始める娘。
暗転。

2 ジャングルジム *le jungle-gym*

ジャングルジムのうえに、マドカの姿が浮かび上がる。

マドカ ……ミツエちゃんも近所さんで、おねえちゃんの同級生でした。わたしも、小さいころは、ずいぶん遊んでもろたもんです。ミツエちゃんとおねえちゃんは、幼稚園から高校までずっとおんなじ学校で、ついでにピアノ教室もいっしょにかよった仲でしたが、とうとう大学で離ればなれになりました。ミツエちゃんは、教育大の音楽科を出て、小学校の先生になりました。ピアノがばつぐんに上手で、子どもずきのミツエちゃんには、天職やと思いました。そんなミツエちゃんを気にかけても、おねえちゃんには、もっと気になるものがあつたみたいです。けれど、それを聞きだせるほどには、そのころのわたしたちの距離はちかありませんでした……

ところへ、なにやら話しながらやってくる主婦二人。

ゴトーさん ……えー、ホンマなん、それ？
クドーさん そやねん……
ゴトーさん あの、カヤノさんとこのマリナちゃんが……
クドーさん 会社辞めてたとはねえ……
ゴトーさん なんだなん？
クドーさん そこはわからへんねん
ゴトーさん なんかあつたんやろか？
クドーさん どやろねえ
ゴトーさん セクシヤル・クラスメイトとか？
クドーさん セクシヤル・ハラスメントや、クラスメイトで、どんな同級生やねんな
ゴトーさん (肩をすくめて) オー、ニホンゴ、ムズカシデース
クドーさん 英語や、英語！
ゴトーさん 最近の若もんは、三年で辞めるらしけどなあ、会社
クドーさん けど、マリナちゃん、そないに若もんちゃうやろ
ゴトーさん え、そうなん？
クドーさん だって、妹のマドカちゃんかて、勤めだして、もう二、三年たつてるやろ？
ゴトーさん ほな、まだ三十過ぎくらいやん
クドーさん そやねえ
ゴトーさん あたしより上かと思て、吃驚したやん
クドーさん いくつやと思たんよ
ゴトーさん 六十とか
クドーさん なんでそないに上やねん、ほな、たゞの定年退職やんか！
ゴトーさん なんや、定年やつたんか

クドーさん　せやから、ちがうでしょ、まだ若いでしょ
ゴトーさん　ほな、マリナちゃん、若もんやん
クドーさん　比較の問題やんか
ゴトーさん　細かいこといゝなや
クドーさん　あんたが大雑把すぎんねん
ゴトーさん　そんなことより、練習せな練習
クドーさん　あゝ、そやね

ふたり、一旦上手に引つ込むと、漫才の出の如く、再び現れる。

ゴトーさん　ドームー、ゴトーです
クドーさん　クドーです

ゴトーさん　ふたり併せて、YES！プリキュア5（ファイヴ）です！
クドーさん　いや、あれは、五人おらんとアカンのとちやいますか
ゴトーさん　ザ・プラン9（ナイン）いゝながら、五人しかおれへんグループかておるやな

いの

クドーさん　あれ、五人もおるさかい、テレビのフレームに入れるのん、えらい苦勞やで、
カメラさんとスイッチャーさん泣かせなグループやで、ホンマ

ゴトーさん　そんなことより、クドーさん
クドーさん　なんですか

ゴトーさん　わたし、最近、気になってることがあるんやけどね
クドーさん　はいな
ゴトーさん　なんや、この冬も暖冬や暖冬やいうて
クドーさん　あゝ、地球温暖化ね

ゴトーさん　え、「砂丘踏んだんか」？
クドーさん　いや、地球温暖化
ゴトーさん　イヤやわ、「子宮で産んだんか」て、あたり前田のクラッカーやないの

クドーさん　地球温暖化ッ！

ゴトーさん　「時給増えたんか？」

クドーさん　チ・キュ・ウ・オ・ン・ダ・ン・カ！　地球がね、二酸化炭素の膜みたいなん
　が分厚くなつて、温室効果で、どんどんあつたかなつていうハナシですやん

ゴトーさん　それぞれ、いや、もう、そのせいで、あたしなんか、もう、心配で心配で……
クドーさん　へえ、ゴトーさんて、環境問題にも関心あつたんや

ゴトーさん　あんまりあつたかくなつたら、あたしのミンクのファー・コート、もう着る機
　会あれへんようなるんちゃうかって……

クドーさん　うわー、むしろアンチ・エコロジーやったか……
ゴトーさん　どないしたらえゝんやろつて考えると、もう夜も眠らず昼寝をし……

クドーさん　寝てるやん、結局
ゴトーさん　昼寝をすれば夜中に眠れないのはどうゆうわけや？
クドーさん　寝てるからや！

ゴトーさん　アンドレ・カンドレ先生に突っ込んだらアカンわ
クドーさん　なんで古い方の名前やねん
ゴトーさん　ツンデレやないで

クドーさん わかっとるわ！

ゴトーさん まあ、そういうわけで、心配なんですわ

クドーさん ゴトーさんね、地球温暖化の一番の原因で知ったはる？

ゴトーさん 知ってますよ、それくらい……

クドーさん ほな、いうてみて

ゴトーさん 昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、おじいさんは山へ柴刈りに……

クドーさん 待って、ちょっと待って、地球温暖化の原因よ、桃太郎でしょ、それ？

ゴトーさん なにいうてんのん、ちやうやんか、わたしのいうてんのは、地球温暖化の原因、

桃太郎とちやいます

クドーさん ほな、桃太郎は？

ゴトーさん 桃太郎は、昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、

おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいつておりました、ある日、おばあさんが川へ洗濯にいくと、川上からおくけな桃がドンブラコ、ドンブラコと流れてきて——やんか

クドーさん ほな、地球温暖化は？

ゴトーさん 地球温暖化は、昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいつておりました、ある日、おばあさんが川へ洗濯にいくと、男の子がやってきて、アルベールさんに伝言を……

クドーさん だれやねん、アルベールさんて

ゴトーさん いや、これはな——

マドカ あのー……

マドカ、ジャングルジムから降りてくる。

ゴトーさん うわッ

クドーさん 吃驚した

ゴトーさん だれかと思たら……だれやった？

クドーさん カヤノさんとのマドカちゃんやないの

ゴトーさん そうそう、マドカちゃんやんか

マドカ はい

ゴトーさん あたしらは？

マドカ ゴトーさんにクドーさん

ゴトーさん いや、あたしら、けっこう有名人？

クドーさん いや、まえから知ってるやん

ゴトーさん さよか

クドーさん そないなことより、ゴトーさん、どないする？

ゴトーさん まあ、えゝでしよ、知らん人やなし……

クドーさん まあ、そやねえ……

マドカ なんですか？

ゴトーさん さっきの漫才、みてたでしよ？

マドカ え、あれ、漫才なんですか

クドーさん ほな、なんやと思てたんよ

マドカ 日常会話かと

ゴトーさん どーゆーこと、それって、おもろないってゆーイミツ？ チョーひどーい！

マドカ いや、日常会話にはおもしろすぎかと……

クドーさん 漫才としては？

マドカ ビシヨー……

ゴトーさん チョーひどーい！

クドーさん まあまあ、ゴトーさん、あたしらのいまの実力がそんなとこなんやから

ゴトーさん そやね、もつと精進せなね

マドカ でも、また、なんで漫才を……？

クドーさん いやー、じつはね……

ゴトーさん まえから、クドーさんと、なんかやりたいねえ、いうてたんよ……

クドーさん ほら、子どももおゝきゆうなつたし、暇もできてきたし……

ゴトーさん そしたら、なんか、こう、張り合いがのうなつたいうか……

クドーさん 刺戟がね、ちよつと……

ゴトーさん アカン、このまゝやつたら、人妻出会い系に登録してまうかも！ ていう感じ

で……

マドカ 出会い系ですか……

クドーさん そんなときに、テレビで、素人漫才コンビのこと見てやね……

ゴトーさん あたしらも、もしかしたら、結構イけるんちゃう？ いうことで……

クドーさん そんなで、どうせやつたら、あたしらもM―1めざそ、いうことんなつて……

ゴトーさん こないだから、練習はじめたつてわけ

クドーさん 人前で堂々とやるんは、まだちよつと恥ずかしさかいに……

ゴトーさん こう、夜中に、時間つくつて、こつそりと……

クドーさん それに、賞金一千万円もろたら、山分けで五百万にしてもローンのたしになる

し……

マドカ はゝあ、優勝する気マンマンですね……

ゴトーさん 夢はでつかく持たなアカンて、ユーリウス・カエサルもいうてたし……

クドーさん いや、カエサルはいうてへんと思うで……

ゴトーさん ほな、人生幸朗師匠やつた？

クドーさん いや、それもちやうと思わ……

ゴトーさん あ、もしや、マドカちゃん、あたしらのネタを盗んで、M―1に出ようと！

クドーさん いや、ひとりでM―1は出られへんから

ゴトーさん ほな、R―1に出んのん？

マドカ 出ませんから

ゴトーさん なーんや

マドカ えーと、もう、わたし帰るんで……

ゴトーさん えー、帰んのん……

クドーさん そうそう、よかつたら、ちゃんと見ていつてくれへん？

マドカ 漫才をですか……？

ゴトーさん そうそう、まだお恥ずかしいもんやけど、せつかくやから、ちよつと見て、コ

メントとかアドヴァイスとかいうてくれるとありがたいんやけど……

クドーさん そやそや、ちよつとだけやし……

ゴトーさん まあまあ、こゝ坐わつて……

ちゆうもん持つてんのよ

ゴトーさん どないしたらえゝんやろって考えると、もう夜も眠れず昼寝する……

クドーさん 寝てるやんか。いやね、地球温暖化の一番の原因で知ったはる？

ゴトーさん 知ってますよ、それくらい……

クドーさん ほな、いうてみてみてみ

ゴトーさん 昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、おじいさん

は山へ柴刈りに……

クドーさん 待って、ちょっと待って、地球温暖化の原因よ、桃太郎でしょ、それ？

ゴトーさん なにいうてんのん、ちやうやんか、わたしのいうてんのは、地球温暖化の原因、

桃太郎とちやいます

クドーさん ほな、桃太郎は？

ゴトーさん 桃太郎は、昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、

おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいつておりました、ある日、お

ばあさんが川へ洗濯にいくと、川上からおゝけな桃がドンブラコ、ドンブラコと流れ

てきて——やんか

クドーさん ほな、地球温暖化は？

ゴトーさん 地球温暖化は、昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました

た、おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいつておりました、ある日、

おばあさんが川へ洗濯にいくと、男の子がやってきて、アルベールさんに伝言を——

マドカ あのー……

クドーさん (指名) はい、マドカちゃん

マドカ 帰ってもえゝですか……？

ゴトーさん なにいうてんねんな、早い早い、まだツカミの最中やないの

マドカ ツカミにしたら長すぎるような……

クドーさん 本題はこれからやから

マドカ それに、イマイチ、ギヤグが……

ゴトーさん あら、世代間のギヤグかしら

クドーさん えー、ちゃんと子どもネタも入れてんのに

マドカ いや、そういう問題やないかと……

ところへ、下手からクサカがやってくる。

クサカ あのう……

クドーさん はい？

クサカ すいません、二丁目六の八のカヤノさんてお宅、ご存じありませんでしょうか……？

クドーさん はいはい

クサカ カヤノさんちに用事がありましたて伺ったんですが、ちよつと迷つてしまいました——

マドカ あ、それなら——

ゴトーさん (マドカの口を強引にふさいで) いやーッ、ごめんなさいねーッ、あたしら、

よう知れへんわーッ(クドーさんに大仰に目配せ)

クドーさん あ、そうそうそう、知れへんわーッ、ごめんなさいねーッ

クサカ そうですか……

ゴトーさん そうですねん

クサカ　じゃ、あの、失礼しました……（去る）

ゴトーさん　ふう、危ないとこやった……

マドカ　なんで、嘘つくんですか？

ゴトーさん　いやいや、じつはね、このごろ、このあたりでよう見かけるんよ、あの男。（クドーさんに）なあ？

クドーさん　せやせや、あの男やったわー

マドカ　（漸く、ゴトーさんを振りほどいて）あの男の人、なんかしてたんですか？

ゴトーさん　なにかを探してるみたいやった

クドーさん　そやそや、そんな感じやった

ゴトーさん　これでわかったわ

クドーさん　カヤノさんとこ探してたんや

マドカ　ウチを？ どうして？

ゴトーさん　もしかして……

クドーさん　ほら、例の……

マリナ　例の……？

ゴトーさん　「ス」ではじまって、「カー」で終わる……

マドカ　まさか……

クドーさん　そうそう……

ゴトーさん　「スニーカー」！

クドーさん　ほんま、わがまゝは男の罪やね、つてちゃうやんか、「ストーカー」や「スト

ーカー」！

ゴトーさん　あれは、タルコフスキーの……

クドーさん　メジャーな意味の方！

マドカ　けど、ストーカーの対象っていうたら……

ゴトーさん　そら、あんたら姉妹のどっちかに決まってるやろ

マドカ　えー、それはありえへんわ

ゴトーさん　いや、世の中は蓼食う虫も好き好きいうてやね

マドカ　ちょっと、おばちゃん！

クドーさん　けど、あの男、マドカちゃん見ても、なんの反応もせえへんかったで

ゴトーさん　ということは、おねえちゃん、名前は、えーと……

クドーさん　マリナちゃんや、マリナちゃん

ゴトーさん　（マドカに）マリナちゃんは？

マドカ　なんか、難波で本買うてくる、いうてたけど

クドーさん　ハッ、ということは、マリナちゃんが危ない！

マドカ　えー

クドーさん　待ち伏せされて、ナイフでぐっさり……

マドカ　まさかあ

ゴトーさん　クドーさん、落ち着きなはれ。まだ、ストーカーと決まったわけやない

マドカ　だって、おばちゃんというたんやん

ゴトーさん　アホやな、あたしがいうたんは「スニーカー」や

クドーさん　そんなことより、マドカちゃん、おねえちゃんが帰ってきはる時間は？

マドカ　（時計を改めて）まあ、だいたい、これくらいの時間のはずやけど……

クドーさん　さッ、駅まで迎えにいきまっせ！（ト、駆けだしていく）

ゴトーさん　ほいきた合点承知之助！（後を追う）
マドカ　あ、漫才の練習は？（後を追って去る）

3 海 *La mer*

入れ替わりにやってくるトランプペットの娘。
公園が無人なのを見て、少し安心の態《てい》。
練習を開始するが、相変わらず音は出せていない。
ところへ、書店の袋をさげてやってくるマリナ。

娘　あ……
マリナ　あ、どうぞどうぞ、練習続けてください……
娘　えーと……
マリナ　ちよつと、よっただけですから……
娘　はい……
マリナ　あの……
娘　なんですか……？
マリナ　それ……（ト、トランプペットをさす）
娘　えゝ……
マリナ　ちよつと、吹いてみてもらえませんか……？
娘　それが……
マリナ　ダメ……？
娘　（莞爾《にっこり》と）いえ、まだ吹けなくて……
（莞爾《にっこり》と）そうですか……
娘　すいません……
マリナ　いやいや……
娘　えーと……
マリナ　はい……
娘　このごろよく来てますよね、こゝ……
マリナ　え、前も会いましたっけ……？
娘　いえ……
マリナ　ちよつとね、最近……
娘　……
マリナ　昼夜逆転生活きみで……
娘　お仕事とかのせいですか……
マリナ　あ、そうか、夜の仕事って手もあるな……
娘　え……？
マリナ　あ、ごめんなさい、こっちのハナシ……
娘　はい……
マリナ　じつはね……
娘　えゝ……

マリナ 先月、辞めちゃったんですね……
娘 やめた……？
マリナ 会社……
娘 あゝ……
マリナ それで、昼間がヒマになっちゃって……
娘 それで……
マリナ (項突いて) まあね……
娘 つまんなかったとか、お仕事……
マリナ それなりにね、おもしろかったですよ……
娘 じゃあ……
マリナ 職場の人間関係もね、悪くなかったし……
娘 なのに……
マリナ ちよっとね……
娘 ……
マリナ 就職してから八年間、ずうっときて、ふと、このまゝでえゝんかなって……
娘 結婚とかは……
マリナ カレシとも長かってんけど、わかれちゃったし……
娘 ……
マリナ 長すぎたんかもね……
娘 ……
マリナ だいたい、おとうさんが、カレシが関西人やって、えゝ顔せえへんかってんけどね……
娘 ……
マリナ おとうさんが……？
娘 そう、おとうさんが……
娘 どうして……
マリナ なーんかね、関西好きやないみたい……
娘 そうなんですか……
マリナ 北海道の出身で、むこうで就職して結婚もしてんけど、なんか大阪に転勤になって……
娘 ……
マリナ ……
娘 おとうさんがいうには、二、三年でもどれるはずやってんけど、以来、三十数年、ず……
娘 ーっと……
マリナ ずつといらっしやるのに……？
娘 なんか、関西になじまれへんみたいで……
娘 だから……
マリナ 関西人の婿なんかいらん、とかいうて、それも共通語で……
娘 ことばも……？
マリナ タイガースも大嫌いやねんで……
娘 頑固親父ですか……
マリナ (嬉しそうに) うん……
娘 おかあさんは……
マリナ うん、死んでおれへんねん……
娘 あ、ごめんなさい……

マリナ 　うゝん、気にせんとつてください……
娘 　……
マリナ 　えーと、十七年まえか……
娘 　……
マリナ 　（咲《わら》いかけて）もう、計算せな思いだされへん……
娘 　（項突いてみせる）……
マリナ 　なんで、そんなに嫌いなんやろなあ……
娘 　おとうさんですか……？
マリナ 　うん……
娘 　なんかイヤな想い出があるとか……
マリナ 　うーん、わたしが生まれた……
娘 　（咲つて）まさか……
マリナ 　おかあさんが死んだ……
娘 　それは……
マリナ 　まさか、ね……
娘 　……
マリナ 　……
娘 　北海道でしたっけ……
マリナ 　うん……
娘 　おかあさんも……？
マリナ 　そう……いわゆる、同級生つてやつやったみたい……
娘 　……
マリナ 　そっか、おかあさんも北海道なんやなあ……
娘 　いったことは……？
マリナ 　ちいさいころにね、なんべんか……
娘 　……
マリナ 　でも、妹が生まれてからは、いったことなかったなあ……
娘 　妹さんが……
マリナ 　うん、ふたりきようだい……
娘 　仲よさそうですね……
マリナ 　なんで……？
娘 　なんとなく……
マリナ 　まあ、悪うはないけど……
娘 　……
マリナ 　おかあさん死んだとき、あの子、小学生で……
娘 　……
マリナ 　あれから、姉っていうより、母つてかんじになつてもうたから……
娘 　……
マリナ 　あ、ごめんなさい、しょうもないハナシで……
娘 　いゝえ……
マリナ 　……
娘 　（トランペットを指し）それ……

娘 これ……？
マリナ 吹けるかな、わたしも、練習したら……
娘 (微笑んで) はい……
マリナ そう……
娘 でも……
マリナ はい……？
娘 なかなか音がでないかも……
マリナ (微笑んで) うん……
娘 ……
マリナ あれ……？
娘 どうかしましたか……？
マリナ なんか、いま、海のおいがしたような……

暗転。

4 ベンチ *le banc*

明るくなると、マドカがジャングルジムのうえで本を読んでいる。

マドカ 「西暦二〇〇七年三月一日二〇時三〇分、海辺にたって、真西の方向に眼をこらすと、尾っぽのほうから沈みゆかんとするおおきなクジラの首のあたり、水平線すれすれに、くじら座オミクロン星ミラがみつかります。この世界で最初に発見された有名な変光星は、このとき、一年でもっともあかるい、最大光度二等星の輝きをしめしているのです。この星座の絵は、たとえば九世紀のものでも、わたしたちのよく知っているクジラというより、上半身が龍で、下半身が魚の怪物として描かれています。これは、ギリシア神話で、アンドロメダ姫を襲った巨大な海の獣が天にあげられたものでした」……。そうでした。くじら座のお化けクジラにはまえ肢があります。このまえ肢は、アンドロメダ姫を求めて地上にあがるうとしたお化けクジラのかなえられた願いではなかったと、だれが否定できるでしょう……。(降りてきて、今度はシーソーに坐ってみる)けれども、願いがかなうということは、もはや海の生き物ではなく、半分獣、半分魚の、化け物になることでした。そうして、天馬ペガソスに乗ってやってきたペルセウス王子によって、岩に変えられてしまうという意味やったのです……

やってくるミツエ。

ミツエ ひさしぶりー
マドカ ミツエちゃん！
ミツエ (ポケットから缶コーヒーをだし) 呑む？
マドカ うん…… (受けとって、プルトップを開け、一口呑む) あったかい……
ミツエ (シーソーの反対側に腰を下ろし) うん……
マドカ (缶コーヒーを返しながら) なに、散歩？

ミツエ そんなどこ……
マドカ へえ……
ミツエ なんです？
マドカ だって、ミツエちゃんでも散歩するんや、って……
ミツエ するよ、散歩くらい……
マドカ ミツエちゃん、昔いうてたやん、散歩キライやって
ミツエ え、そんなこというたっけ？
マドカ うん、しんどいからイヤやって
ミツエ へえ……
マドカ インドア派やから、って
ミツエ なに、それ、へんないかた
マドカ 忘れてるんや
ミツエ いつのハナシ？
マドカ ミツエちゃんが高一のころ
ミツエ ふうん……
マドカ 学校から帰ってきてても、部屋にとじこもって、ピアノばかりひいてたやん
ミツエ そういえば、そやったなあ……
マドカ おねえちゃんは部活で遅かったし……
ミツエ なんか、遊んでほしかったん？
マドカ そういうわけやないけど……
ミツエ マリナは、けっこう遊んでくれたやろ？
マドカ ちっちゃいころはね……
ミツエ わたしはひとりっ子やからなあ……
マドカ なに、ミツエちゃんもおねえちゃんとかほしかったん？
ミツエ うーん……
マドカ それとも男の兄弟？
ミツエ そやなあ、可愛い弟クンやったらほしかったかも……
マドカ そんなん、わたしもほしいわ
ミツエ そうなんや……
マドカ うち、男率低かったし……
ミツエ ……
マドカ ……
ミツエ おじちゃんは、相変わらず？
マドカ うん。なんで？
ミツエ だって、おじちゃん、カッコよかったやん、ケンキューシャいうかんじで
マドカ たゞの製薬会社のサラリーマンやん
ミツエ でも、研究職なんやろ？
マドカ まあ、そうみたい……
ミツエ なんか、よう知らんのか？
マドカ うん……あんまり……
ミツエ うわ、おじちゃん、可哀そ……
マドカ そやかて、しゃあないやん、会社までいって、見てきたわけやないねんから……
ミツエ まあ、そういや、そやね

マドカ　せやろ？
ミツエ　ようかんがえたら、わたしかて知らんわ、おとうさんの仕事つぷり……
マドカ　けど……
ミツエ　なに……？
マドカ　ちよつとはわかるようになったかも、じぶんが働くようになってから……
ミツエ　うん……
マドカ　小学校は忙しいん？
ミツエ　忙しで、そりやもう……
マドカ　やれへんの、コンサート……？
ミツエ　なんや、マリナとおんなじときくんや……
マドカ　そうなん……？
ミツエ　そうそう、やれへんの、って
マドカ　だって、ミツエちゃん、憧れの的やったもん……
ミツエ　うわ、そのセリフもいっしょや
マドカ　しゃあないやん、ジジツやねんから……
ミツエ　はいはい、毎度ご贔負いたゞいて、おゝきに
マドカ　ほんまにそう思てんねんで
ミツエ　いや……
マドカ　なに……？
ミツエ　たいしたことあれへんで、わたしなんか……
マドカ　……
ミツエ　ピアノうまいひとなんか、いっぱいおるやん……
マドカ　ミツエちゃん……
ミツエ　……
マドカ　……
ミツエ　わたし、小学校のセンセやし……
マドカ　けど……
ミツエ　ほら、マドカちゃんこそ、ピアノ、もうやれへんの？
マドカ　だって、わたし、ぜんぜんやったやん
ミツエ　そんなことないって
マドカ　ほんま……？
ミツエ　ほんま
マドカ　ほな、ミツエちゃんが教室開いてくれたら、習いにいくわ
ミツエ　(嬉しい) うん……
マドカ　(嬉しい) うん……
ミツエ　なんか……
マドカ　ん……？
ミツエ　寒なつてきた……
マドカ　そう……？
ミツエ　やっぱ、動いてなアカンわ……
マドカ　……
ミツエ　(立ち上がって) じゃ、歩行運動をつゞけてくるし……
マドカ　うん……

ミツエ ほなね……(去る)

風。

ちよつと寒そうなマドカ。なんとなく鼻歌を歌いだす。しだいに大きくなる鼻歌。
ところへ、チサトがひよっこり現れる。

チサト モーツァルト……！

マドカ わッ……！

チサト ピアノ協奏曲第二十一番

マドカ え、え……

チサト ケツヘル四六七番

マドカ そ、そうでしたっけ……

チサト 第二楽章

マドカ た、たしか……

チサト やめちやっただ、ピアノ？

マドカ え？

チサト もつたいない……(ト、公園の遊具をせわしなく行き来しながら遊びはじめる)

マドカ えーと……

チサト なにか？

マドカ どちらさんですか？

チサト (不満) えー……！！

マドカ なんですか……!?

チサト どちらさんもこちらさんも……

マドカ ハア……？

チサト おねえちゃんも？

マドカ 姉がなにか？

チサト やめちやっただ……

マドカ え、どうして、会社やめたことを……

チサト ピアノよ、ピアノ

マドカ あ……。けど、どうして、それも……？

チサト (シーソーの反対側に坐わって) ねえ……

マドカ はい……？

チサト どうしてる、おとうさん……？

マドカ ち、父ですか？ そりゃ、毎日、会社行ってますけど……

チサト 元氣？

マドカ それなりに……

チサト ふうん……

マドカ けど、また、なんで、父のことを……

チサト ヒミツ

マドカ いや、ヒミツって……

チサト 関西嫌い……

マドカ え、そんなことまで……？

チサト 知ってる、どうしてか？

マドカ　　なんか、タイガースが嫌いやからとか聞いた気が……
チサト　　え、そうなの？
マドカ　　え、違うんですか？
チサト　　へえ……
マドカ　　知ってはるんやないんですか、理由？
チサト　　知ってるかも
マドカ　　じゃあ……
チサト　　ヒミツ
マドカ　　あのねえ――
チサト　　北海道
マドカ　　（傍白）怪しい、怪しすぎる、このひと……
チサト　　帰りたいとか、いってない？
マドカ　　そんなん、しょっちゅういってますけど……
チサト　　でしよでしよ
マドカ　　大掃除のころになるたび、来年こそは会社やめて北海道へ帰るんやって……
チサト　　うん……
マドカ　　えゝかげん、おしえてもらえませんか
チサト　　なにを？
マドカ　　あなたがナニモンか……！
チサト　　……
マドカ　　……
チサト　　ポケモン
マドカ　　もうッ――
チサト　　アイヌって、知ってる？
マドカ　　知ってますよ、それくらい、それよかね――
チサト　　おとうさん、アイヌの血を引いてるんだよ
マドカ　　えーッ？
チサト　　ちよびっとだけだけどね
マドカ　　もしかして、あなた、うちの遠い親戚とか……？
チサト　　他人ですともさ
マドカ　　にしちやあ、ちよつとヤバイくらい詳しくすぎるんやないかと……
チサト　　マドカちゃんは、ナニ人？
マドカ　　また、トートツに……
チサト　　カンサイジン？　ホツカイドージン？　それとも……
マドカ　　関西人にきまつてるやないですか、生まれも育ちも大阪なんですから……
チサト　　氏より育ちってやつね
マドカ　　そりやそうですよ……
チサト　　親はなくとも子は育つ
マドカ　　え……
チサト　　おかあさんはナニ人？
マドカ　　おんなじ北海道の人ですけど……
チサト　　じゃあ、盆と正月には北海道へ……
マドカ　　最近じゃ、ちつとも行ってないですけどね

チサト マドカちゃん、道産子と道産子のあいだの子なんだよね
でも……

チサト おとうさんさ、若いころ、北海道を出たくてたまになかったんだってさ
マドカ え？ ほんまですか？

チサト いわゆる「アイデンチ、ーの危機」ってやつよ

マドカ 「アイデンチ、ー」ね

チサト 結構苦悩したらしいよ

マドカ おとうさんが……？

チサト ハンカクサイ（アホ）よね
マドカ は？

チサト 「わたしたちは、トランクを握ったまゝおゝきくなった」……

マドカ なんですか、それ……？

チサト フランスのね、移民の二世の映画監督が、じぶんの両親について書いた文章。彼女の

チサト 両親は、地中海のむこうがわ、祖国アルジェリアにずっと帰るつもりで荷造りをして、
その機会がありながらも、けつきよく、帰ることはなかった、って……

マドカ それ……？

チサト （シーソーから立ち上がり）さつてと……

マドカ ……？

チサト 今日はこのへんで

マドカ 今日は、って……

チサト じゃ（ト、去りかけ）

マドカ あ、ちよっと……

チサト （立ちどまって）はやく帰ないと、風邪ひくよ（去る）

マドカ （呆気にとられ）マジで、だれ……？

5 トランク *la valise*

マドカだけにスポットがあたる。

マドカ

「わたしたちは、トランクを握ったまゝおゝきくなった」……。荷造りされたトランクは、海の夢にさらされたまゝ、その海を渡ることにはなく、しずかに朽ちてゆきました。……そうです、海を夢見すぎたせいで、海の色に染まってしまったトランクが、わが家にも置かれていたのです。そして、トランクは、おとうさんだけやなく、わが家の全員が持っていたことに、まだだれも気づいていませんでした。このわたしもまた……。そんなゝかで、まず行動をおこしたんは、おねえちゃんでした……

マドカが去ると、そこは別の日の夜。

ゴトーさんとクドーさんとマリナがやってくる。

ゴトーさん
クドーさん

にしても、最近、見いひんなあ、例のスニーカー
ストーリーやっぱ

ゴトーさん さよか

マリナ あのう、べつにストーカーじゃなかったのでは……

クドーさん いやいや、通りすがりに一目惚れしてストーカーになるヤツかておるんやから、

マリナちゃんらも気いつけなあかんでえ

ゴトーさん それより、(声をひそめて) 今度は、謎の女が出没してるみたいやで

クドーさん 謎の女?

ゴトーさん カトーさんから聞いてんけどな、最近、若い女を見かけるらしねん

クドーさん どっかの娘さんとちゃうんかいな?

ゴトーさん ご町内の家庭事情の知識にかけては、このあたしの左に出るもんはおっても、

右に出るもんはおらん

クドーさん なにをエラそうに、マリナちゃんの退職知らんかったくせに

ゴトーさん あゝ、あれは痛恨のエラーやったわあ(悔しがる)

マリナ すいません……

ゴトーさん そのゴトー・データベースを検索したかて、カトーさんの証言によるモニター

ジュに該当する若い娘は存在せえへん

クドーさん 無茶苦茶本格的やな

ゴトーさん ご町内の家族構成、最近半年間の転出入記録にも変化はあれへん

マリナ そんな情報まで……

クドーさん なにいうてんねんな、どうせ、だれかのカノジョとかに決まってるやろ

ゴトーさん ご町内の交友関係、恋愛事情にも、そういう事実はありません

クドーさん あんた自身、ご町内全員へのストーカーやな

ゴトーさん たゞ……

クドーさん たゞ?

ゴトーさん このあたしにも情報を入手でけん人が……

クドーさん それは、いったい?

ゴトーさん カヤノさんとこのご主人……

マリナ おとうさん?

ゴトーさん あんたとこのおとうさんて、なんや、あたしを避けてへん?

クドーさん そら、だれかて避けるで

マリナ おとうさん、おばちゃんみたいなタイプ、苦手かも……

ゴトーさん このビボーやのに?

クドーさん そらムボーや

マリナ 大阪弁とか、コテコテとか、苦手みたいなんです、うちの父……

ゴトーさん あらまあ、なんで?

マリナ さあ……。でも、昔から、こゝは、一時的に住んでるだけやつて、よういうてました

けど……

クドーさん そんな、あんた、関西はえゝとこだつせ

ゴトーさん グランシャトーがおまつせ

クドーさん それ、京橋だけやから

ゴトーさん サウナでさつぱりえゝ男、恋の花も咲きまつせ

クドーさん それ、グランシャトーのコマーシャル・ソングやから

ゴトーさん グランシャトーはレジャービル

クドーさん もうえゝちゆうねん! どんだけ、グランシャトーずきなんや!

マリナ おとうさんには、いつまでも仮の住まいみたいなんです……

ゴトーさん ほな、このあたしが、いっぺんじっくりと関西の良さを教えたげよやないの
クドーさん 謎の女のハナシが、すっかりどつか行つてしもたある……

ゴトーさん そやそや、その謎の女ですがな

クドーさん ゴトーさんのデータベースにないとすると……

ゴトーさん あたしが唯一情報をとれへん人の関係者である可能性、大ッ！

クドーさん ということは……

ゴトーさん・クドーさん (マリナに) あんたのおとうさんのなんかやッ！

マリナ えーッ

ゴトーさん つまり、カヤノさんのご主人の……

マリナ おとうさんの……

ゴトーさん スニーカーッ！

クドーさん ひっこいやっちゃな

マリナ それって、ちよつと飛躍してませんか？

ゴトーさん せやかて、普通のカノジョやったら、ちゃんと家に来るやろ？ そしたら、マ

リナちゃんらかて知ってるはずや。もし、娘たちに知られたない、いうんやったら、
自宅の近所やのうて、もつと別んどこで密会するはずやん？

クドーさん なるほど

ゴトーさん ほーら、大変や、カヤノさんのご主人が危ない！

クドーさん (マリナに) おとうさん、今夜は？

マリナ 昨日から出張して、帰つてくんのは明日の夜ですけど……

ゴトーさん そんなら安心やね

クドーさん いや、安心か？

ゴトーさん とにかく、今晚はだいじょうぶや

クドーさん まあ、せやけど……

ゴトーさん さ、漫才の練習しよか

クドーさん 変わり身、早ッ

ゴトーさん ぐちゃぐちゃいうてんと。幸い、今日は誰もおれへんし

クドーさん なにいうてんのん、ゴトーさん、最近、人目がないと燃えへんとかいうような

つてきたやん

ゴトーさん せやから、今日は、マリナちゃんいう人目がおるやんか

クドーさん あゝ、なるほどね

ゴトーさん マリナちゃん、ほな、ちよつと、あたしらがやってみるさかい、見といてな

マリナ はい……

ゴトーさん あゝ、燃えてきた、燃えてきたでー！

クドーさん 燃えー、萌えー！

クドーさん クドーさん、それ、ちよつとちゃうわ

クドーさん あら、そう？

ゴトーさん それオタクやん。クサカムリ「萌え」になつてるやん

クドーさん あらま

ゴトーさん なんやいわんでえゝねん

クドーさん けど、noe って、いまや国際語やで

ゴトーさん そんなん、関係あれへん！

クドーさん はいはい
ゴトーさん ほな、やるで

一旦はけて、ふたゝび出てくると、ごく短い漫才をやってみせる。

ゴトーさん てな感じ

クドーさん (マリナに) どう？

マリナ うーん……

ゴトーさん ほらほら、黙っとったら、「すばらしい」か「感動的」か「サイコー」か「チ

ョーすごい」かわからへんやないの

クドーさん ゴトーさん、選択肢のなかに否定的見解があれへんようになってるで

マリナ なんていうたらえゝんか……

ゴトーさん 筆舌に尽くしがたい感動いうやっちゃね、わかるわかる、うんうん

マリナ イマイチっていうか……

ゴトーさん どの口がそんなこというてんねん、この口か！

クドーさん まあまあまあ

ゴトーさん よっしゃ、こゝはひとつ、実地体験で、あたしらの高級豪邸令夫人的漫才のす

ばらしさを味わってもらおやないの

クドーさん というわけで、さっそくマリナちゃんに参加してもらおか

マリナ え、いきなりですか？

ゴトーさん M—1出たいんやろ？

マリナ というか……

クドーさん あんたかて関西人やろ、そんなんすぐついてこれるって

マリナ そんな無茶苦茶な……

ゴトーさん ほな、いくで

ト、マリナを拉致ってはけると、また出てくる。

ゴトーさん どーもー、ゴトーです

クドーさん クドーです

マリナ カヤノです

ゴトーさん・クドーさん ふたり併せて、ゴクドーです！

マリナ わたしはッ？ わたしもおんねんから！

ゴトーさん あゝ、せやったせやった

クドーさん ほな、もういっぺん

ゴトーさん どーもー、ゴトーです

クドーさん クドーです

マリナ 三波春夫でございます

ゴトーさん・クドーさん (マリナをはたく)

ゴトーさん パクリはアカンわ

クドーさん せやせや、オリジナリチー出さんと

ゴトーさん ほな、もういっぺん

一旦はけて、ふたゝび出てくる三人。

ゴトーさん どもー、ゴトーです
クドーさん クドーです

マリナ 近田春夫でございます

ゴトーさん ヒネリすぎもアカンわ

クドーさん やっぱ、ふつうのまゝでえゝわ

ゴトーさん ほな、もういっぺん

一旦はけて、みたび出てくる三人。

ゴトーさん どもー、ゴトーです

クドーさん クドーです

マリナ カヤノです

三人 三人併せて、ザ・アショーカー王！

ゴトーさん 得意技は第三回伝典結集《ぶってんけつじゅう》です

クドーさん いや、得意技はいらんやろ

マリナ あゝ、紀元前二六八年ごろね

クドーさん なんで世界史のハナシやねんな

マリナ 「風呂は（二六八）嫌いかアショーカー王」と憶えてください

クドーさん 関係ないやん

ゴトーさん はゝあん、さてはあんた、未履修やな？

クドーさん やかましわッ！

マリナ ゴトーさん、クドーさん

ゴトーさん なんですか

マリナ わたし、最近、気になってることがあるんやけどね

クドーさん はいな

マリナ なんや、この冬も暖冬や暖冬やいうて

クドーさん あゝ、地球温暖化ね

マリナ そうそう、その地球温暖化

ゴトーさん え、「呼吸困難か」？

マリナ・クドーさん 地球温暖化！

ゴトーさん いややわ、あんたら、「四球選んだんか」て、藤川がフォアボール出すはずが
ない！

クドーさん なんでタイガースのハナシなんねんな！

ゴトーさん ほな、近鉄バファローズ？

マリナ あれへんがな、もう

ゴトーさん むしろ、近鉄パールス？

クドーさん もっと古なってる！

ゴトーさん 知ってますよ、地球温暖化くらい

マリナ ほなね、地球温暖化の一番の原因で知ったはる？

ゴトーさん そんなん、あたり前田の「のりセサミ」ですよ

クドーさん ほな、ちよっと、いうてみて

ゴトーさん 昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、おじいさん

は山へ柴刈りに……

クドーさん 待って、ちよっと待って、地球温暖化の原因よ、桃太郎でしょ、それ？

ゴトーさん なにいうてんのん、ちやうやんか、わたしのいうてんのは、地球温暖化の原因、

桃太郎とちやいます

マリナ ほな、桃太郎は？

ゴトーさん 桃太郎は、昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、

おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいつておりました、ある日、おばあさんが川へ洗濯にいくと、川上からおゝけな桃がドンブラコ、ドンブラコと流れ
てきて——やんか

マリナ ほな、地球温暖化は？

ゴトーさん 地球温暖化は、昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがすんでおりました、

た、おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯にいつておりました、ある日、
おばあさんが川へ洗濯にいくと、男の子がやってきて、アルベールさんに伝言を——

ところへ、下手からクサカがやってくる。

クサカ あのう……

ゴトーさん アッ、出たなストーカー一号！

クサカ なんですか、それ？

クドーさん じつはね、もうひとりストーカーが生まれてね、そっちが二号いうことで……

クサカ いや、ぼくが訊いてるのは、そこじゃなくて……

ゴトーさん なんや、あたしが「スニーカー」ていわへんかったことか？ あたしかて、い

つでもボケてる思たら大間違いやでッ

クドーさん なにを威張ってんねんな

ゴトーさん さあ、あんたが狙ってるのは、(マリナを指して) 姉か？ それとも妹か？ ま

さかエロゲーみたいに、両方狙ってるんやないやろな？

クサカ いや、べつに……

ゴトーさん ま、まさか、カヤノさんのご主人を狙うてる……!?

クドーさん 禁断の果実を摘む気なんか……!?

クサカ なんだかよくわかりませんが、ぼくは、カヤノさんの下で働いてます、クサカと申
します

ゴトーさん オフィス・ラヴ……!!

クドーさん 二重に禁断の果実を……!!

クサカ カヤノさん、ご存じなんですよ？ この辺で、カヤノさんを見かけませんでしたか？

(主婦たちに迫る)

ゴトーさん キヤー、襲われるーッ！

クサカ ちよ、ちよっと待ってくださいよ

マリナ わたし、カヤノの娘です……

クサカ あ、お嬢さん？

マリナ 父がなにか……？

クサカ あの、不躰で申し訳ありませんが、このところ、カヤノ係長——おとうさんに、なん

か変わったところはありませんでしたか
いえ、べつに……

マリナ クサカ 失礼ですが、おとうさんは、昨日、どこにいらしてたんでしょう？
マリナ 北海道ですけど……

クサカ 北海道？
マリナ え、出張で……

ゴトーさん あれ、あんた、カヤノさんのご主人の下で働いてんねやろ？
クドーさん ほな、なんで出張のこと知れへんねんな？

クサカ それは、嘘です……
ゴトーさん 嘘？

クドーさん っ、出張が？
クサカ はい……

マリナ え……!!
クサカ 係長……カヤノさんは、無断欠勤なさいました……

マリナ 無断欠勤……
クドーさん (ゴトーさんに) なんで!?

ゴトーさん 悔しいッ、また情報漏れやわッ！
クサカ こんなこと、いままで、いちどもなかったものですから……

マリナ ほんとうなんですか？
クサカ はい……

マリナ なんか、仕事で問題とか……？
クサカ いえ……

マリナ そうですか……
クサカ たゞ……

マリナ・ゴトーさん・クドーさん ……？
クサカ 係長の実験結果の副産物のひとつがなくなってます……

クドーさん ジッケン？
ゴトーさん フクサンブツ？

クドーさん (マリナに) おとうさんの職業って……？
マリナ あれ、ごぞんじやなかったんですか？

ゴトーさん く、悔しいッ
マリナ 研究員です、製薬会社の……

ゴトーさん データベースに登録々々と
マリナ その、なくなったものというのは？ なにか大切なものなんですか？

ゴトーさん 大変や、なんや、企業スパイ小説みたいになってきましたで
クドーさん いやいや、製薬会社だけに、バイオ・ホラー・サスペンスかもしれまへんで

クサカ たいしたもんじゃありません、まあ、ゴミといってもいゝんですが……
マリナ なんですか、それって

クサカ 骨です
マリナ 骨？

クサカ え、ネズミのうしろ肢の骨です
マリナ それが、おとうさんの研究なんですか？

クサカ カヤノ係長の研究対象は、「ソニック・ヘッジホッグ」(sonic hedgehog)「いわゆる」s

h h 遺伝子」というやつです

ゴトーさん それいうたら、セガの出してる青いハリネズミ？

クドーさん いや、あれは「ソニック・ザ・ヘッジホッグ」いうて、「ザ」這入ってまんね

ん

ゴトーさん さよか

クサカ じつは、ソニック・ヘッジホッグは、そのソニック・ザ・ヘッジホッグから名づけられたんですけどね

クドーさん これはまた、トリビアな

クサカ この遺伝子は、生き物の形態発現に影響をあたえます。たとえば、脚が生えるとか、羽根が生えるとか

マリナ 脚が

クサカ 最近では血管の修復や、毛根の細胞を刺戟して禿を治す目的でも研究されてますけれどね

マリナ それで、ネズミのうしろ肢が？

クサカ はい、厳密にいうと、ネズミの退化した骨盤の骨ですね。s h h 遺伝子の働きを邪魔すると、うしろ肢がちゃんと成長せずに退化して、体内の痕跡だけになってしまいうんです

マリナ その痕跡を

クサカ 普通は実験後にはちゃんと処分するんですが、いつだったか、係長は、そのちいさな骨がほしいと仰有って、ちいさな透明のケースに入れて、ずっと机の上に飾ってました、まるで、写真を飾るように……

マリナ ……

クサカ ぼくが、なんでそんなもん飾るんですかって訊いたら、こいつは、おれのふるさとだよって……

ゴトーさん どういうこと？

クサカ 意味を尋ねても、笑っていらつしやるだけで……

マリナ その骨が、なくなってた……

クサカ あの、係長、なんか悩んでるとかなかったでしようか？

マリナ いえ、特に……

クサカ ぼく、新人のときからずっと係長に面倒みもらって、漸く一人前の研究ができるよここまで来たんです……

マリナ おとうさんが……

クサカ 係長がいなくなったら、ぼくは……

マリナ クサカさん……

ゴトーさん (ハタと膝を打ち) 見えてきたでえなにが？

ゴトーさん カヤノさんのご主人の失踪の陰に――

マリナ そんな、まだ、失踪と決まったわけや……

ゴトーさん 謎の女ありや！

クサカ だれですか、謎の女って？

ゴトーさん あんたアタマ悪いな、だれかわからへんから「謎」なんやないか

クサカ ですから……

ゴトーさん よっしゃ、これで決まりや！

クドーさん なにが決まったんよ？

ゴトーさん たゞいま、ここに、「二丁目マダム探偵団」の結成を宣言する！

クドーさん・クサカ 「二丁目マダム探偵団」？

ゴトーさん えーと、クサカさんやっつけたっけ？

クサカ はい

ゴトーさん 喜んでや、あんた、ストーカー一号から、探偵ナンバー4《フォー》に格上げや

クサカ はあ？

ゴトーさん で、クドーさんはナンバー1《ワン》、マリナちゃんがナンバー2《ツー》、マリナ わたし、また「マダム」やないんですけど……

ゴトーさん 細かいことは、抜き、抜き

クドーさん ゴトーさんは？

ゴトーさん もちろん、「ボス」に決まってるやんか

クサカ ちょっと待ってくださいよ……

ゴトーさん ボスにクチゴタエはゆるさん！

クサカ ナンバー4って……

クドーさん そやそや、ナンバー3《スリー》とちやうのん？

クサカ いや、そういう問題じゃなくて……

ゴトーさん なにいうてんの、ナンバー3はマドカちゃんに決まってるやない

クドーさん あゝ、なるほど

ゴトーさん さあ、ナンバー4、さっそく指令や

クサカ ですから……

クドーさん けど、この人、見るからに頼んなさそうでっせ

ゴトーさん (クサカに) あんたかて研究者の端くれなんやろ？

クサカ はあ、一応……

ゴトーさん ほな、仮面ライダー改造するとか、ジラーズ育てるとかでけるやろ？

クサカ そんなマッド・サイエンティストじゃないですから

クドーさん ゴトーさん、たとえそんなんでしても、現時点ではなんの役にも立てへんから

クサカ だいたい、ぼくは、生物系じゃなくて化学系ですし

ゴトーさん そんな能力は探偵にいらん！

クサカ だって、さっき……

ゴトーさん 探偵に必要なんは、観察眼と機動力や、これをまとめて「根気」という……

クサカ 無茶苦茶ですよ、それ

ゴトーさん やかましッ、「根気」と書いて「マジ」と読むんや！

クドーさん そこまでいくと、無理あるわあ……

ゴトーさん というわけで、指令第一号、「謎の女を探せ！」

クサカ いや、係長の行き先じゃないんですか？

ゴトーさん 話せばながくなるから、あんたには説明せえへんけど、絶対関係があるッ

クサカ なぜ、こんな羽目に……

ゴトーさん もっと喜ばんかいな、あんた最初はスニーカーやっつてんで

クサカ なんですか、そりゃ？

ゴトーさん それがストーカー第一号で、いまや探偵ナンバー4、しかも、もしかしたら、

北海道旅行もできるかもしれないねんで、もちろん、旅費は自腹やけど

クドーさん　　けど、カヤノさんのご主人、北海道へ、なにしに行かはったんやろ……？
クサカ　　（マリナに）お嬢さん、なにか心当たりありませんか？
マリナ　　北海道には……
クサカ・ゴトーさん・クドーさん　　……？
マリナ　　おかあさんのお墓があります……

暗転。

6 クヅラ *la baleine*

うつすらと、二条の明かり。
娘とチサトが浮かびあがる。

娘　　それは遠い過去のこと……
チサト　　それは十七年前のこと……
娘　　それはこの地球のこと……
チサト　　それはこの街のこと……
娘　　それはわたしたちのこと……
チサト　　それはわたしたちのこと……
娘　　わたしは旅だった……
チサト　　わたしは旅だった……
娘　　それは大いなる船出だった……
チサト　　それは遙かなる船出だった……
娘　　あるとき……
チサト　　あるとき……
娘　　わたしたちは還ろうと思った……
チサト　　わたしは還ろうと思った……
娘　　だが、おどろいたことに、還ってみると……
チサト　　そこはもとの場所ではなかった……
娘　　そこでわたしたちは、ふたゝび旅だった……
チサト　　そこでわたしは、ふたゝび旅だった……
娘　　そうして、わたしは知ったのだ……
チサト　　そうして、わたしは知ったのだ……
娘　　わたしは旅だったのではない……
チサト　　わたしは旅だったのではない……
娘　　はじめから旅のなかであって……
チサト　　つねに旅をつづけていたのだということ……
娘　　旅こそが進化であり……
チサト　　旅こそが変化であるということ……
娘　　だからわたしたちに還るべき場所はなく……
チサト　　だからわたしに行き先はない……

娘 わたしたちに過去はなく……
チサト わたしに未来はない……
娘 わたしたちは永遠のいまを生きており……
チサト 永遠の旅をつづけていることを……

娘、トランプペットを構える。

チサト 吹けるようになった……？
娘 (構えをやめて) まだまだです……
チサト そうよね……
娘 たったの五千五百万年ぼちですから……
チサト たったのね……
娘 そっちはどうですか……？
チサト まだまだね……
娘 そうですね……
チサト 三人ともね……
娘 あ……
チサト なに……？
娘 ほら、ミラがあかるくなってきましたよ……
チサト 四百年まえの光ね……
娘 ちかいですね……
チサト 四百年なんて一瞬だよ……
娘・チサト 永遠にくらべたら……

娘、ふたゝびトランプペットを構えるなか、暗転

7 変光星 *l'étoile variable*

ベンチに坐わっているマドカ。

マドカ 約五千五百万年に海に帰ったクジラやイルカの先祖たちは、そのまゝ水中生活に適応した姿になりましたが、このあいだ、うしろ肢のあるイルカが発見されたというニュースがありました。学者の先生たちは、クジラ族の進化の過程を調べるのにたいそう役立つだろうが、突然変異にすぎないというてはります。けど、ほんまにそうなんですか……？ そもそも、クジラやイルカのうしろ肢が消えたのは、必要なくなつたからやというの、ほんまでしょうか。クジラやイルカたちは、脚がないから水中で暮らすしかないのだとは考えられへんでしょうか。ときおり海岸に座礁するクジラやイルカたちは、脚があれば、と祈らへんかったでしょうか。そして、もし、クジラやイルカたちが脚を望んだとしたら、やはり、なにがしかの代償を払わんとあかんのでしょうか、ちようど、あの可哀そうな人魚姫のように……。ならばそのとき、クジラやイルカたちは、いったいなにを失うのでしょうか……。別の場所に行きたいという

願望は、いつだって罰せられなあかんでしょうか……

ト、ひよっこり現れるチサト。

チサト かんがえごと？

マドカ もうッ、また、急に……

チサト 神出鬼没

マドカ なにがシンシユツキボツよ、あ、まさか、「謎の女」って……

チサト ちよつとアダルトな感じでしょ？

マドカ だって、あなた、わたしとそんな変わらないでしょ、歳

チサト 年齢不詳1

マドカ はあ？

チサト 美人薄命

マドカ 四文字熟語はもうえゝから

チサト おねえちゃんとは、五つちがい？

マドカ そうやけど……

チサト あれ、驚かないの？

マドカ 我が家の事情に詳しいのは充分わかったから、いまさら驚きません。あ、もしかしたら、あんた、ゴトーさんデータベースを見たやろ？

チサト なに、それ？

マドカ ご町内中のストーカー

チサト それって、タルコフスキーの……

マドカ それより、おねえちゃんがなによ？

チサト 五つもちがうと、アダルトな魅力が……

マドカ 三十と二十五のあいだに、そない差なんかあれへんてば

チサト 十三と八つなら？

マドカ え……

チサト まあ、年上だろうが年下だろうが、おねえちゃんはおねえちゃんだけどね

マドカ あたりまえやん、そんな

チサト ほんと？

マドカ だって……

チサト おねえちゃんだからガマンしなさいとか、おねえちゃんだからしつかりしなさいとか

マドカ ……

チサト わたしだって、妹のくせにとか、お下がりばかりとか……

マドカ じゃあ、おあいこだ

チサト でも……

マドカ ピアノ、いっしよに習ったところは、仲良かったのにな

チサト そんな、子どものころのはなし……

マドカ おっと、だれかくるから、このへんで

チサト ちよつと……

マドカ じゃ、疾風迅雷！

チサト

疾風迅雷に姿を隠すチサト。

ト、マリナがやってくる。

マドカ あ、おねえちゃん、いま、そのへんで……
マリナ なに？
マドカ うゝん、やつぱ、いゝ……
マリナ 変なの……
マドカ なにしにきたん……？
マリナ ベつに……
マドカ ……
マリナ あんたこそ……
マドカ こゝにおつたら、だれかと会えるような気がして……
マリナ だれと……？
マドカ そやなあ、おとうさんとか……
マリナ なんて？
マドカ なんとなく……
マリナ 相変わらず、呑気でえゝなあ、あんたは
マドカ なんてよ……
マリナ だって、嘘ついて会社休んでんで
マドカ うん……
マリナ わたしらにまで……
マドカ うん……
マリナ なんて隠すのん……
マドカ ……
マリナ 北海道がなんやっていうのよ……
マドカ ……
マリナ ……
マドカ おねえちゃん……
マリナ なに……？
マドカ 呑気ちやうよ、わたし……
マリナ ……
マドカ ずっと、そんなふうに思ってたんや……
マリナ あんたこそ……
マドカ ……
マリナ わたしのこと、融通がきかへんと思てるでしょ……
マドカ そんな……
マリナ わたし、そんなことないから……
マドカ けど、ゴトーさんと漫才やるなんて……
マリナ えゝやん、べつに……
マドカ そんなのために会社やめたん……？
マリナ ちがうけど……
マドカ おとうさんも勝手やけど、おねえちゃんかって勝手やん……
マリナ なんてよ……
マドカ 勝手に会社やめて、勝手に漫才はじめて……

マリナ　　なによ、いちいちあなたに許可もらわなあかんの？
マドカ　　そやないけど……
マリナ　　ほな……
マドカ　　だって、家族やのに……
マリナ　　……
マドカ　　もし、おかあさんがおつたら——
マリナ　　おかあさんのことなんか、ほとんど知らへんくせに、えらそうにいわんとつてよ……!!
マドカ　　……!
マリナ　　だって、わたし……
マドカ　　……
マリナ　　変わらなあかんねんから……
マドカ　　……
マリナ　　邪魔せんとしてよ……
マドカ　　……
マリナ　　ごめん……
マドカ　　……
マリナ　　わたしかって……
マドカ　　……?
マリナ　　変わりたいよ……
マドカ　　……
マリナ　　変わるもんなら……
マドカ　　……

ところへ、駆け込んでくるゴトーさんとクドーさん。

ゴトーさん　　ほら、やっぱり、こゝにおつた
クドーさん　　流石はブス、いやボス
ゴトーさん　　おとうさん、予定では今日帰ってきはるんやろ？
クドーさん　　早く、駅行つて待ち伏せな
ゴトーさん　　で、マリナちゃん、北海道について、なんかわかった？
マリナ　　いえ……
クドーさん　　まあ、昨日の今日じゃ、無理もあれへんわ
ゴトーさん　　うーむ、ほんなら、謎の女の方を……つて、ナンバー4は？
クドーさん　　さあ……
ゴトーさん　　ほんま、肝腎のときにおらへんやなんて、役に立たんやつちやな

ところへ、駆け込んでくるクサカ。

ゴトーさん　　遅い、遅いわー
クサカ　　す、すいません……
ゴトーさん　　で、報告は？
クサカ　　こ、これを……(ト、数枚の紙を手渡す)

クドーさん なにこれ、謎の女の資料？

クサカ いえ、謎の女はちよつと調べようがなくなつて……

ゴトーさん あかんわー、使えへんわー

クドーさん インク滲んでて、えらい読みにくいので、これ

クサカ たぶん、そのせいで、係長、また印刷しなおしたんじゃないかと……

ゴトーさん え、ほな、これ、カヤノさんのご主人の？

クサカ はい、もしやと思つて、係長の机の下のゴミ箱あさつたら出てきました

ゴトーさん あんた、やつぱり、ストーカーの素質充分やわ

クドーさん これ、インターネットの飛行機の時刻表と、ホテルの予約表を印刷したやつや

ん

ゴトーさん ほな、これがカヤノさんのご主人の行き先？

クドーさん 札幌やね

ゴトーさん (姉妹に) おかあさんのお墓があるのんは？

マリナ 留萌です……

ゴトーさん どこ、そこ？

クドーさん さあ……？

クサカ たしか、札幌より北の方です

ゴトーさん アバウトな説明やな

クドーさん 目的はわからんまゝやねえ……

クサカ ところが、これを見てください(ト、もう一枚の紙を出す)

ゴトーさん アホッ、資料は一度にわたさんかい！

クドーさん これは賃貸アパートの検索結果？

ゴトーさん ということは……

クドーさん 謎の女を住まわせるための

ゴトーさん 愛の流刑地や！

クサカ いや、ちよ、ちよつと待つててくださいよ

マドカ おとうさん、帰るつもりやつたんや……

マリナ 帰るつて、北海道へ？ なんで？

マドカ だって、帰る帰るつて……

マリナ あんなん、いつかて口先だけのことやつたやん……

ゴトーさん え、愛ルケとちやうのん？

クサカ どういうことですか？

マドカ 父は、ずつと、関西になじめなかつたらしくつて……

クサカ あゝ、そうだったんですか！ じつは、ぼく、出身が東京でして、いまだに、こう、

こつちには、なんかなじめないつていうか、だいたい、漫才つていたらWけんじと

か獅子てんや・瀬戸わんやとかですよね、知りませんか、「家族そろつて歌合戦」――

(ト、ゴトーさんに首を絞められて、黙る)

マリナ 勝手やわ……

クドーさん マリナちゃん……？

マリナ わたし、変われへんかつてん、やつぱり、なんにも……

一同 ……

マリナ せやのに、おとうさんだけ、勝手に変わろうとするやなんて……

クサカ マリナさん……

マリナ おとうさんはクジラのうしろ肢や、昔、歩いとった大地の感覚を忘れられへんで、いつまでも、その想い出にぶらさがってるクジラのうしろ肢の骨や……！
マドカ おねえちゃん……

8 ぼんぼん la balangoire

マリナにのみスポット。
ト、ジャングルジムの上に娘が浮かびあがる。

娘 あの……
マリナ え……あゝ……
娘 トランペット……
マリナ ……？
娘 あの、もうすぐ吹けそうなんですけど……
マリナ それで……？
娘 だから……
マリナ ……？
娘 そのときは、聞いてもらっていいですか……？
マリナ まあ……
娘 よかった……
マリナ あの……
娘 (上を仰いで) いゝですよね、月夜って……
マリナ あなた……
娘 はい……？
マリナ だれなん……？
娘 ……
マリナ なんて、吹けもせえへんトランペットなんか抱えてんの……
娘 ……
マリナ そんなん、ガラクタヤんか……
娘 いゝえ……
マリナ ……
娘 これは、クジラのうしろ肢の骨……
マリナ え……？
娘 これは、変光星ミラの光……
マリナ それって……
娘 過去でも未来でもない
マリナ じゃあ……
娘 おとうさんも(探している)……
マリナ そんな……
娘 ずっと、ずっと……
マリナ ……

娘 海に果てはありませんから……
マリナ なら、それをわたしに……
娘 (首を振って) あなたは、あなたのものを……
マリナ わたしにも、ある……

ト、娘の姿は消えてしまう。
ところへ、ミヅエが駆け込んでくる。

ミヅエ マリナ……！
マドカ ミヅエちゃん……
ミヅエ どないしたん……？
マドカ ミヅエちゃんこそ……
ミヅエ 散歩してたら、そこでトランプを持った女の子に会って、その子が、公園でマリナが待ってるから、急いであげてって……
マリナ ……
ミヅエ でも、どないかしたん……？
マリナ (首を振る) ……
ミヅエ そう……
マリナ ……
ミヅエ ならえゝんやけど……
マドカ あ……
ミヅエ あ、そや……
マドカ ……？
ミヅエ じつは、やっぱり、コンサートやる思てさ……
マドカ じゃあ……
ミヅエ うん……
マドカ 行くいく、ゼツタイ行く！
ミヅエ マリナもやんな？
マリナ ……
ミヅエ ……
マリナ (小さく) もちろんやんか……
マドカ けど、なんで……？
ミヅエ その、さっきのトランプを持った女の子がな、いつしよけんめい練習してゝ、それ見てたら、なんか、ちよつとね……
マリナ その子って……
ミヅエ うん、こゝの公園で会った子
マリナ ……
ミヅエ 知ってる子？
マリナ うん……
ミヅエ なんかね、現状打破せなって感じでき、ムリしすぎてたかなあつて……
マリナ ……
マリナ (微笑んで) そやな……

ミツエ えっと、せやから、日あけとつてや、ゼツタイやで……

マリナ・マドカ (項突く) ……

ミツエ で、この人たちは？

ゴトーさん おっと、思わず見とれてゝ忘れとつたわ！

クドーさん せやせや、謎の女や！

ゴトーさん さあ、まずは、カヤノさんのご主人を確保や！

クドーさん ほいきた合点承知之助！

ゴトーさん 駅に行くで、マリナちゃん、マドカちゃん、ナンバー4！

クサカ どうして、ぼくだけ番号なんですか……？

ゴトーさん レッツ・ゴー！（ト、マリナの腕を掴む）

クドーさん さ、あんたもいっしょに（ト、ミツエの腕を掴む）

ミツエ え、あ、あの、わたし……（連れ去られる）

駆け去る一同。

マドカ ちよ、ちよっと……

ジャングルジムの上からチサトが顔を出す。

チサト 行かないの、いっしょに……？

マドカ え、あ、びっくりした……

チサト 駅前……

マドカ 聞いてたん……？

チサト まあね……

マドカ あなたね、ほんま、いったい……

チサト 生き物ってさ……

マドカ ……？

チサト 変わるんないことのほうが珍しいよね……

マドカ また、唐突にヘンなこといゝだすし……

チサト 細胞だつて入れかわってるし……

マドカ そりやそうやけど……

チサト いちばん最初から変わりつゞけてるんだから……

マドカ ……

チサト 変わるんないでいることの方がむずかしんだから……

マドカ そやね……

チサト 去る者は日々に疎し

マドカ え……

チサト ねえ………！

マドカ はい………？

チサト 相撲とろっか

マドカ え、なに、いきなり……

チサト (地面つま先で仕切り線を引き) ほら、仕切つて仕切つて

マドカ ちよっと……

チサト ほら、ちゃんと手をついてついて
マドカ (しぶしぶ仕切る) ……
チサト ほらほら、もっと膝開いて開いて
マドカ (膝を開く) ……
チサト ハツキョイツ、のこったッ!

立ち会い。がつぷり四ツに組むふたり。

チサト がぶり寄りがぶり寄り、荒勢のがぶり寄り(ト、がぶり寄る)
マドカ ちよつと、ちよつと、アラセってだれ!?
チサト (架空の土俵際まで追いつめると、そのまゝ、マドカを抱きしめる) ……
マドカ え……
チサト ごめんね……
マドカ な、なにを、急に……
チサト ……
マドカ ……
チサト (足を、架空の土俵の外に踏み出して) 勇み足……
マドカ は……?
チサト (ニツと咲うと) わたしの負け……
マドカ ……
チサト じゃ、元気だね……!

駆け去るチサト。惘然《ぼうぜん》と見送るマドカ。

マドカ まさか……

暗転。

9 シーンー *la bascule*

公園の真ん中で、マドカが本を読んでいる。

マドカ

「地球の平均気温および海水温は、一九世紀末にくらべて、〇・七五度上昇しているが、この二〇年間では、およそ〇・二度も上昇した。温度上昇の要因についてはさまざまな議論があるが、主な原因のひとつと考えられているのが、二酸化炭素、メタン等のガスによる、いわゆる温室効果である。これにより、一〇〇年後には、気温が一・四度から五・八度上昇、氷河が溶け、海水が膨張することで、現在より水面が一メートル上昇すると予測されている。そのとき、現在の此花区、西淀川区の大部分、尼崎市の南部は水没することになる」……もし、このまゝ、水位が上昇しつづけたら、どうなるのでしょうか。シミュレーションによると、五メートルの上昇で、大阪駅周辺は海の中になります。けれど、わたしはこう思うのです、世界が海に沈むというけれど、

いまだって、空気に沈んでいるのではないかと。宇宙だって、物質の海に沈んでいるのではないかと……。ならば、わたしたちは船出するのではなく、生まれたときから、旅をつづける船のなかにいるのだと……

娘の姿が浮かびあがる。

マドカ こんにちは……

娘 こんにちは……

マドカ おうちはこの辺……？

娘 (首を振る)

マドカ じゃあ……

娘 住所不定なんです……

マドカ え……

娘 ていうか、旅のとちゅう、かな……

マドカ うそ……

娘 ラッパいっぽん旅鳥……

マドカ ……

娘 ほんとですよ……

マドカ ラッパ吹けへんのに……？

娘 そのうちに、ね……

マドカ ……

娘 だって、そのための旅なんですから……

かすかに、クジラたちの鳴き声。

マドカ うん……

気がつくくと、娘の姿はない。

マドカ まだまだ、旅のとちゅうか……

風。

マリナが現われる。

マリナ なに、また本？

マドカ うん

マリナ なんの本？

マドカ 未来の本

マリナ ヘンな本

マドカ (本を地面に置くと、両腕を、イヌがちんちんするときのように構える) ……

マリナ なによ、それ

マドカ くじら座のお化けクジラ

マリナ　　はあ？
マドカ　　（そのまゝ、ピアノの鍵盤を弾くかのように、腕を伸ばす）モーツァルト
マリナ　　アホ……
マドカ　　（ニツと咲って）うん……
マリナ　　ピアノ……
マドカ　　……
マリナ　　また、はじめたら……？
マドカ　　うーん……
マリナ　　……
マドカ　　おねえちゃんが、ゼヒにとたのむんなら……
マリナ　　アホ……
マドカ　　いつしよに習いにいこつか、ミヅエちゃんどこ……
マリナ　　うん。けど、ミヅエ、もっと忙しなるやん……
マドカ　　あゝ、そつか……
マリナ　　コンサート、いこな……
マドカ　　うん、ていうか、わたしら、裏方やらなアカンと思うで……
マリナ　　あ、そつか……
マドカ　　……
マリナ　　……
マドカ　　おねえちゃん、シーソーしよ……（ト、跨る）
マリナ　　えー……
マドカ　　ほら、はやく……
マリナ　　しゃあないなあ……

マリナ、不承々々跨る。

シーソーを漕ぎはじめるふたり。

マドカ　　あのさ……
マリナ　　ん……？
マドカ　　昔な、いたずらとかして、おとうさんとおかあさんに叱られたやろ……？
マリナ　　あんた、いたずらっ子やったもんな
マドカ　　叱られるたびにこの公園に来て、お星さまにお祈りしてゝん
マリナ　　うん……
マドカ　　どうか、おとうさんもおかあさんもおれへん世界につれてってください、いうて
マリナ　　……
マドカ　　そしたら……
マリナ　　……
マドカ　　怖かってん、わたしのせいかもしれへん、て……
マリナ　　でも、おとうさん、生きてるやん
マドカ　　うん……
マリナ　　アホやな、そんなん気にしとったんかいな
マドカ　　けど……
マリナ　　アホ……

マドカ アホアホって、ひどいわ、おねえちゃん
マリナ ひどいで、おねえちゃんやもん
マドカ (嬉しい) うん……
マリナ にしてもさ……
マドカ うん……？
マリナ 人騒がせなオッサンやで
マドカ ほんまほんま
マリナ 黙って帰ってきて、ひどこと「バレたか」だけやもんな
マドカ おとうさんらしいけどさ……
マリナ クサカさんが気の毒やわ
マドカ けど、いうてたで……
マリナ なにを……？
マドカ マリナ怒ってたやろって……
マリナ ほんま……？
マドカ ほんま……
マリナ なんや、それ、確信犯？ 信じられへん……
マドカ (へ、へと咲って) ほんま、おとうさんて、ハンカクサイ……
マリナ え……？
マドカ うゝん、なんでもありません
マリナ ……
マドカ ……
マリナ あんな……
マドカ うん……？
マリナ おとうさんが大阪を嫌いな理由ってな……
マドカ うん……
マリナ おかあさんのことがあったんかも……
マドカ おかあさんのこと……？
マリナ だって、ほら、おとうさんにとって、北海道はおかあさんと出おて結婚した街、大阪
マドカ は、おかあさんが死んでもた街やん……
マリナ そうかなあ……
マドカ おとうさん、ラヴラヴやったんかも……
マリナ えー……
マドカ えー、やな、ほんま……
マリナ でも、あかんわ、やっぱ……
マドカ なんて……？
マリナ だって、大阪って、わたしらの生まれた街でもあるんやで……
マドカ ほんまや……
マリナ まあ、そんだけ、おかあさんへの愛があったんかも……
マドカ えー……
マリナ えー、やわ、ほんま……
マドカ けど、考えたら、わたしら宙ぶらりんやな……
マリナ 宙ぶらりん……？
マドカ 北海道人と大阪人の……

マドカ けど、おねえちゃん、大阪生まれの大阪育ちやん……
マリナ まあ、そやけど……
マドカ あ、まさか、それで漫才を……？
マリナ なんて……？
マドカ 関西人の血イをたしかめるために……
マリナ (咲って)アホ……
マドカ (怒ってみせて)アホちやうもん……
マリナ けど、もしかしたら、そのつもりもあつたんかもしれへん……
マドカ アホやなあ……
マリナ なによ……
マドカ そんなん、わかってるやん……
マリナ わかってるやん、って……
マドカ (上を指さして)宇宙からみたら……
マリナ 宇宙人か……
マドカ 海なんか、まだせまいせまい……
マリナ なるほどね……
マドカ うん……
マリナ ユートピアなんて、文字どおり「どこにもあれへん場所」やしね、地球上にないんなら、宇宙にゆくしかないか……
マドカ せやね……

ところへ、クサカが現われる。

クサカ やっぱりこちらでしたか……
マドカ あ、やっぱストーカーかも……
マリナ こないだはどうも……
クサカ 就職なさったそうで……
マドカ うわ、ストーカーや……
マリナ とりあえず、派遣で……
クサカ そのう、係長、仰有ってましたか……？
マドカ え、なにをですか……？
クサカ 無断欠勤の始末書かいて、賃貸アパートの一覧はシュレッダーにかけてました……
マリナ え、シュレッダーのゴミまで見たんですか……
マドカ 鉄板でストーカーやわ……
クサカ 早期退職して、北海道に帰るつもりでらしたみたいですね。けど、あとわずかでも、いつしよに働きたいんですよ……
マリナ・マドカ ……
クサカ ほんとに頼りになる上司なんです、係長は……
マドカ ほら、また、わたしらの知らんおとうさんや……
マリナ 昼間のパパはちよつとちがう、いうやっちゃな……
クサカ じゃ、これで……

なんとなく嬉しいふたり。

ト、駆け込んでくるゴトーさんとクドーさん。

ゴトーさん あ、やっぱり、ここにおった！（ト、クサカの右腕を掴む）

クドーさん ナンバー4、次の指令、聞いてまっしやる（ト、クサカの左腕を掴む）

ゴトーさん 指令ナンバー〇〇2《マルマルニ》！

クドーさん 消えたクジラのうしろ肢の骨を探せ！

クサカ ちよ、ちよっと、離してくださいよ、だいたい、M―1はどうなったんですか？

ゴトーさん M―1なんて、ちゃんちゃら可笑しうて

クドーさん タンテーの方が百倍もおもしろいがな

ゴトーさん ほら、あんたも！

クサカ そんな無茶苦茶なア

クドーさん ごちやごちやいうてる暇あれへん！

ゴトーさん さ、行くで、ナンバー2！

クサカ （嬉しい）ハ、ハイッ！

ゴトーさんとクドーさん、クサカを引きずり去る。

マドカ ランクあがったんや、クサカさん……

マリナ けど、わが家のほうは、結局、変化なしか……

マドカ えーと……

マリナ ちゃうのん？

マドカ わたしらみんな、もう旅だってるやん……

マリナ ……？

マドカ （咲って）もう、みんな、バラバラやで……

マリナ うん……

マドカ ミラって、知ってる？

マリナ あゝ、なんか、変光星いうやつやろ、明るさが変化する……

マドカ うん、あの星、わたしらみたいやろ？

マリナ なんで？

マドカ 変わっていくから

マリナ そんなんこじつけやん

マドカ あはゝ

マリナ そんなんいうたら、人間だれかてミラやんか

マドカ （莞爾《につこり》と）そやで……

マリナ （莞爾《につこり》と）そやな……

マドカ あ……

マリナ なに……？

マドカ、上を見あげる。ト同時に、ジャングルジムの上に娘が現われる。娘、トランペットを望遠鏡のように構え、空を見あげる。

マドカ ほら、クジラや……

マリナ (同じく見あげて) うん……

ト、クジラの鳴き声が鋭く響きわたる。
途端にあたりは一面の星空。クジラのはきだす泡のような、またたく星のような
シヤボン玉飛びちらい、くじら座のミラひときわ輝くなか、シルエットと化す姉
妹、まるでクジラの背にまたがるように……。

100万年后 dans 5 millions d'années, de nouveau

宇宙を満たす海のなか深く、クジラたちの鳴き声がかすかに響く。
おしまい。

【参考文献】

BENGUIGU, Yamina 1999 *Mémoires d'Immigrés — L'Heritage maghrébin*, Albin Michel.

天野 雅男 2006 「腹ビレのあるイルカの意味」 帝京大学マニマルサイエンス学科 [online
available : 2006/12/26] <http://www.ntu.ac.jp/dept/anl/column/061215.html>

嵯峨井 知子+城石 俊彦 2005 「四肢の進化の鍵をにぎる調節因子の発見」 日本語バイオポータ
ルサイト [online available : 2006/12/04] <http://www.biportal.jp/columns/22/>